

4. 下水道使用料金改定に伴う下水道事業収支シミュレーション結果

(1) シミュレーション条件

資料3-2でご提示した改定使用料金体系(案)により、下水道使用料金改定を実施した場合の下水道事業収支シミュレーションを以下の条件に基づき試算しました。

【シミュレーション条件】

- ◇下水道使用料は定期的に見直しを行うため(概ね 4 年毎)、算定期間を平成 30 年度～33 年度までの 4 年間とします。
- ◇下水道事業収支は、平成 28 年度までは下水道事業決算・決算見込、平成 29 年度以降は「阿見町公共下水道事業経営戦略(平成 29 年 2 月)」を基に試算しています。
- ◇下水道使用料金改定による使用料収入の増加額＝一般会計繰入金減少額としています。

(2) 下水道事業収支シミュレーション結果

以上の条件において下水道使用料金改定に伴う下水道事業収支シミュレーションを試算した結果が**表 4-1**となります。

また、下水道事業収支シミュレーションの詳細結果が**資料4-改定案①**、**資料4-改定案②**、**資料4-改定案③**となります。合わせてご覧ください。

◎ シミュレーション結果総括(表 4-1・図 4-1～4)について

表 4-1において改定案①～③のシミュレーション結果の総括を示しております。

改定案ではそれぞれ基本料金を 100 円～500 円値上げすることとしておりますが、基本料金を 100 円値上げするごとに、使用料収入が料金算定期間である平成 30 年度～33 年度の 4 年間の累計で約 7,100 万円増加し、資本費回収率が約 2.5%上昇する結果となります。

図 4-1～4において平成 24 年度～33 年度の現行使用料及び改定案①～③における使用料収入・一般会計繰入金の推移を示しております。平成 24 年度の料金改定により、平成 25 年度以降は使用料収入が一般会計繰入金を上回ることとなりましたが、依然として多額の一般会計繰入金が必要であれば事業が実施できない状況となっております。



表 4-1 シミュレーション結果総括

単位：千円

	現行使用料	改定案①	改定案②	改定案③
料金改定範囲	-	基本料金のみ	基本料金のみ	基本料金のみ
料金改定額（税抜）	-	100円値上げ	300円値上げ	500円値上げ
使用料金収入 (H30～33累計)	2,675,848	2,746,934	2,889,105	3,031,274
使用料金収入 現行比増減額 (H30～33累計)	-	71,086	213,257	355,426
一般会計繰入金 (雨水処理負担金等含む) (H30～33累計)	2,287,612	2,216,526	2,074,355	1,932,186
一般会計繰入金 現行比増減額 (H30～33累計)	-	▲ 71,086	▲ 213,257	▲ 355,426
資本費 (H30～33累計)	2,921,857	2,921,857	2,921,857	2,921,857
資本費回収率	29.7%	32.1%	37.0%	41.9%

図 4-1 使用料収入・一般会計繰入金(現行使用料)

